

第二面について
 ・この報告書は昇降機1台毎に提出して下さい。
 ・多台数ある場合は協議会番号の枝番順にとじて提出ください。

特定行政庁が交付したものは建築主事に「レ」マークを入れて下さい。

確認済証交付年月日および確認番号を記入して下さい。

検査済証交付年月日および検査番号を記入して下さい。

指定確認検査機関が交付したものは「レ」マークを入れて下さい。また右の()内に、その機関又は法人名を記入して下さい。

今回の検査日を記入して下さい。

前回の報告受付年月日を記入して下さい。検査日ではありません。

前年度の報告がしてあれば実施に「レ」マークを記入し、前年度以前の実施の場合は未実施に「レ」マークを記入して下さい。済証交付後、2年後の初回報告時にも未実施に「レ」マークを記入して下さい。

前回の検査書類の写しの保存の有無を記入して下さい。

検査者が法人に勤務している場合にその勤務先を記入して下さい。

検査者が法人に勤務していない場合はその者の住所を記入して下さい。

その他の検査者が2人以上の場合、ここに記入できない検査者については、別紙に番号及びイットについて記入し添付して下さい。

その他の検査者が代表となる検査者と同じ勤務先の場合には「上と同じ」とし、ホート欄の記入は省略してもよい。

保守契約をしている場合は保守会社の契約事業所名を記入して下さい。保守契約をしていない場合は(第一面)【2. 管理者】の氏名等を記入して下さい。

建築設備とは建築物に設置された昇降機を言い、工作物とは遊園地・観光を目的として工作物に設置された昇降機を言う。(建築基準法第88条1項)

斜行エレベーター、階段昇降機、斜行型段差解消機は斜行とエレの両方に「レ」マークを入れて下さい。

人荷用は両方に「レ」マークを非常用の場合非常用にも「レ」を入れて下さい。

ハ、ニ、ホ、はエレベーター以外は記入する必要ありません。

エスカレーター及び斜行に「レ」マークをした昇降機の勾配を記入して下さい。動く歩道は0度、4度のように記入して下さい。

公称寸法でも、図面の寸法でもかまいません。単位mで記入して下さい。例:(公称)1.000(図面)1.004

要是正の指摘及び要重点点検の指摘があるとき、その内容を判定基準にそって30文字以内で簡潔に記入願います。

要是正の指摘及び要重点点検の指摘について、改善予定がある場合、「有」をチェックし、併せて改善予定年月を記入して下さい。

(第二面)

昇降機の状況等

【1. 昇降機に係る確認済証交付年月日等】
 【イ. 確認済証交付年月日】 年 月 日 第 号
 【ロ. 確認済証交付者】 建築主事 指定確認検査機関 ()
 【ハ. 検査済証交付年月日】 年 月 日 第 号
 【ニ. 検査済証交付者】 建築主事 指定確認検査機関 ()

【2. 検査日等】
 【イ. 今回の検査】 平成 年 月 日 実施 未実施
 【ロ. 前回の検査】 実施 (平成 年 月 日 報告) 未実施
 【ハ. 前回の検査に関する書類の写し】 有 無

【3. 検査者】
 (代表となる検査者)
 【イ. 資格】 () 建築士 () 登録 第 号 第 号
 建築基準適合判定資格者
 登録昇降機検査資格者講習を修了した者
 【ロ. 氏名のフリガナ】
 【ハ. 氏名】
 【ニ. 勤務先】 () 建築士事務所 () 知事登録 第 号
 【ホ. 郵便番号】
 【ヘ. 所在地】
 【ト. 電話番号】
 (その他の検査者)
 【イ. 資格】 () 建築士 () 登録 第 号 第 号
 建築基準適合判定資格者
 登録昇降機検査資格者講習を修了した者
 【ロ. 氏名のフリガナ】
 【ハ. 氏名】
 【ニ. 勤務先】 () 建築士事務所 () 知事登録 第 号
 【ホ. 郵便番号】
 【ヘ. 所在地】
 【ト. 電話番号】

【4. 保守業者】
 【イ. 名称】
 【ロ. 郵便番号】
 【ハ. 所在地】
 【ニ. 電話番号】

【5. 昇降機の概要】 (番号) 台帳番号を記入する
 【イ. 種類】 建築設備 工作物 エレベーター (斜行) エスカレーター 小荷物専用
 【ロ. 種別】 ロープ式 油圧式 その他 ()
 【ハ. 駆動方式】 乗用 (人荷共用 非常用) 寝台用 自動車運搬用 荷物用
 【ニ. 用途等】
 【ホ. 機械室の有無】 有 無
 【ヘ. 仕様】 (電動機定格容量) (定格速度) (積載量) (定員) (階段の幅) (勾配)
 (Kw) (m/min) (Kg) (人) (m) (度)
 【ト. 停止階】 例: B1.1~6.R 階 (停止階床数 例: 8) 乗降口のある階数
 【チ. 製造者名】

【6. 検査の状況】
 【イ. 指摘の内容】 要是正の指摘あり (既存不適格)
 要重点点検の指摘あり 指摘なし
 【ロ. 指摘の概要】
 【ハ. 改善予定の有無】 有 (平成 年 月に改善予定) 無
 要是正は改善予定の有無の記入は必須です。無の場合は付箋にて理由を添付願います。

【7. 不具合の発生状況】
 【イ. 不具合】 有 無 イが無ならロ、ハは未記入のままでよいです。
 【ロ. 不具合記録】 有 無
 【ハ. 改善の状況】 実施済 改善予定 (平成 年 月に改善予定) 予定なし

【8. 備考】 不具合とは、(昇降機の場合)異常停止、装置機能の異常停止、異常音・振動等、着床誤差、機器の損傷(焼損、破損等)で通常の状態と違うものを指します。第4章6も参照し記入して下さい。

建築物等の名称: 号機 登録番号
 検査会社のコード等: 提出期限月

電動機容量に変更があった場合は変更届の提出が必要です。

台帳番号を記入する

乗降口のある階数

昇降機的设计・製作をした者(会社名)を記入、リニューアル工事で主要部品の過半数以上を改造した場合は改造を行った者(会社名)を併記して下さい。

平成20年度国土交通省告示第283号の施行後に大臣認定を受けた装置等は備考欄に認定を受けた部分(構造上主要な部分、制御装置等)及び認定番号を記入して下さい。

欄外の部分は(第一面)と同様に、報告会社コード、協議会番号、報告指定月、報告会社の管理番号を記入して下さい。